

# 精神神経科学分野

## 論文

### A 欧文

A-a

- 1 . Kawata M, Maeda M, Yoshikawa Y, Kumazaki H, Kamide H, Baba J, Matsuura N, Ishiguro H: Preliminary Investigation of the Acceptance of a Teleoperated Interactive Robot Participating in a Classroom by 5th Grade Students. Lecture Notes in Computer Science : 194-203, 2023. doi: 10.1007/978-3-031-24670-8\_18.
- 2 . Kumazai H, Muramatsu T, Yoshikawa Y, Matsumoto Y, Ishiguro H, Mimura M: Android robot was beneficial for communication rehabilitation in a patient with schizophrenia comorbid with autism spectrum disorders.. Schizophrenia research 254: 116-117, 2023. doi: 10.1016/j.schres.2023.02.009.
- 3 . Hasegawa C, Ikeda T, Yoshimura Y, Kumazaki H, Saito DN, Yaoi K, An KM, Takahashi T, Hirata M, Asada M, Kikuchi M: Reduced gamma oscillation during visual processing of the mother's face in children with autism spectrum disorder: A pilot study. Psychiatry and Clinical Neurosciences Reports 2(1): 2023. doi: 10.1002/pcn5.68.
- 4 . Akiyoshi T, Sumioka H, Kumazaki H, Nakanishi J, Kato H, Shiomi M: Practical Development of a Robot to Assist Cognitive Reconstruction in Psychiatric Day Care. Companion of the 2023 ACM/IEEE International Conference on Human-Robot Interaction : 2023. doi: 10.1145/3568294.3580150.
- 5 . Yoshikawa Y, Muramatsu T, Sakai K, Haraguchi H, Kudo A, Ishiguro H, Mimura M, Kumazaki H: A new group-based online job interview training program using computer graphics robots for individuals with autism spectrum disorders. Frontiers in Psychiatry 14: 2023. doi: 10.3389/fpsy.2023.1198433.
- 6 . Takata K, Yoshikawa Y, Muramatsu T, Matsumoto Y, Ishiguro H, Mimura M, Kumazaki H: Social skills training using multiple humanoid robots for individuals with autism spectrum conditions. Frontiers in Psychiatry 14: 2023. doi: 10.3389/fpsy.2023.1168837.
- 7 . Ochi K, Inoue K, Lala D, Kawahara t, Kumazaki H: Effect of attentive listening robot on pleasure and arousal change in psychiatric daycare. Advanced Robotics : 1-10, 2023. doi: 10.1080/01691864.2023.2257264.
- 8 . Nomura T, Suzuki T, Kumazaki H: Differences in stakeholders' expectations of gendered robots in the field of psychotherapy: an exploratory survey. AI & SOCIETY : 2023. doi: 10.1007/s00146-023-01787-x.
- 9 . Matsushima T, Yoshikawa Y, Matsuo K, Kurahara K, Uehara Y, Nakao T, Ishiguro H, Kumazaki H, Kato TA: Development of depression assessment tools using humanoid robots -Can tele-operated robots talk with depressive persons like humans?. Journal of Psychiatric Research 170: 187-194, 2023. doi: 10.1016/j.jpsychires.2023.12.014.

### B 邦文

B-a

- 1 . 川原 紘子,冠地 信和,熊崎 博一,今村 明,小澤 寛樹 : 遠隔操作型ロボット(Sota100)を用いた産休育休中の医師支援についての予備的研究. 精神神経学雑誌 (2023特別号): S577, 2023.
- 2 . 松島 敏夫,吉川 雄一郎,熊崎 博一,加藤 隆弘 : 【オンライン・ICTメンタルヘルスサービスの発展と今後の展望】コミュニケーションロボットによるひきこもり・うつ病の早期支援. 精神障害とリハビリテーション 64回: O1, 2023.

B-b

- 1 . 熊崎 博一 : 最先端医療の今 精神医療におけるロボットの活用. Medical Science Digest (2023特別号): S509, 2023.
- 2 . 熊崎 博一 : 【いま,知っておきたい発達障害 Q&A 98】 治療 発達障害の感覚過敏について,どのような対応がありますか?. 精神医学 (2023特別号): S478, 2023.
- 3 . 熊崎 博一 : 【自閉スペクトラム症支援のアップデート】 ロボットおよび人工知能を用いた自閉スペクトラム症の支援. 発達障害医学の進歩 (2023特別号): S345, 2023.
- 4 . 熊崎 博一 : ギフテッドの特徴を有する子どもたちの実態と支援 ヒューマノイドロボットを用いたギフテッド者への支援. 精神神経学雑誌 (2023特別号): S337, 2023.

5. 熊崎 博一：精神科へき地医療の新しい時代に向けて 長崎県における離島・へき地支援. 精神神経学雑誌 44(1): 49-53, 2023.
6. 熊崎 博一：神経発達症の感覚現象と実践的な支援 自閉スペクトラム症者への嗅覚特性を考慮した支援. 精神神経学雑誌 35(3): 233-239, 2023.
7. 熊崎 博一：精神疾患におけるヒューマノイドロボットを用いた支援の現状と今後の課題 発達障害診療におけるロボット支援の可能性. 精神神経学雑誌 68(45355): 145, 2023.
8. 熊崎 博一：小児の嗅覚 成長・発達への影響 発達障害児の嗅覚特性. 小児耳鼻咽喉科 68(45355): 139-140, 2023.
9. 田山 達之,冠地 信和,熊崎 博一：【神経内科との理想的な連携を追求する】長崎大学病院と五島中央病院における精神科と神経内科の連携. 総合病院精神医学 68(45355): 132-133, 2023.
10. 熊崎 博一：へき地・離島医療の問題を解決するための最新のテクノロジーとの共生. 日本社会精神医学会雑誌：2023.
11. 熊崎 博一：【発達障害を地域で診る】科学技術を用いた発達障害支援の試み. 地域医学：2023.

#### B-d

1. 明翫 光宜,浮貝 明典,渡辺 由美子,山中 弥春,兼松 明日美,青木 舞衣,井川 みれい,柴田 彩乃,壬生 隼斗,曾我部 哲也,高柳 伸哉,鈴木 勝昭,杉山 文乃,与那城 郁子,日詰 正文,熊崎 博一,田中 尚樹,辻井 正次：障害福祉サービス事業所におけるICT活用の実態調査—A survey of ICT Uses at welfare service facilities for persons with disabilities in Japan. 中京大学社会学研究科社会学論集 = Journal of Sociology, Graduate School of Sociology, Chukyo University (34): 45-51, 2023.

#### B-e-1

1. 冠地 信和,熊崎 博一,今村 明,小澤 寛樹,谷口 大輔,塚崎 稔,吉川 雄一郎,石黒 浩,馬場 惇,村山 真一：デイケア利用者が遠隔操作型ロボットに抱く信頼感に影響を与える条件について比較検討したので報告する. 精神神経学雑誌 (2023特別号): S421, 2023.
2. 川原 紘子,森本 芳郎,冠地 信和,大橋 愛子,田山 達之,熊崎 博一,今村 明,小澤 寛樹：パーキンソン病による器質性緊張病性障害に対して,プレクスピラゾールと修正型電気けいれん療法の併用療法が奏功した1例. 九州神経精神医学 68(45355): 145, 2023.
3. 古賀 公基,冠地 信和,大橋 愛子,田山 達之,熊崎 博一,今村 明,小澤 寛樹,谷保 康一,中野 健,小田 孝,古賀 洋一,北島 正親,井上 啓爾：高度便秘に対し結腸切除術と継続した排便訓練を行った,精神病エピソードを伴う知的発達症の一例. 九州神経精神医学 68(45355): 139-140, 2023.
4. 松本 和樹,冠地 信和,大橋 愛子,田山 達之,熊崎 博一,今村 明,小澤 寛樹：自閉スペクトラム症・知的発達症・てんかんを背景にもつ小児がCapgras症候群を呈した一例. 九州神経精神医学 68(45355): 132-133, 2023.
5. 清水 日智,冠地 信和,大橋 愛子,田山 達之,熊崎 博一,今村 明,小澤 寛樹：COVID-19により自殺企図に至った強迫症状を伴う統合失調症の一例. 九州神経精神医学 68(45355): 131-132, 2023.
6. 中村 康司,冠地 信和,大橋 愛子,田山 達之,熊崎 博一,今村 明,小澤 寛樹：抗てんかん薬がうつ病の治療に関与した一例. 九州神経精神医学 68(45355): 114-115, 2023.
7. 村山 真一,冠地 信和,川田 恵,吉川 雄一郎,馬場 惇,石黒 浩,谷口 大輔,塚崎 稔,今村 明,小澤 寛樹,熊崎 博一：精神科病院ダイケアでの遠隔操作型会話ロボットを活用した支援の予備的研究. 日本社会精神医学会雑誌 32(3): 272, 2023.
8. 冠地 信和,川原 紘子,川田 恵,吉川 雄一郎,馬場 惇,石黒 浩,辻田 高宏,木下 裕久,今村 明,小澤 寛樹,熊崎 博一：遠隔操作型会話ロボットを活用した産休中の医師支援の予備的研究. 日本社会精神医学会雑誌 32(3): 250-251, 2023.
9. 清水 日智,山本 直毅,今村 明,熊崎 博一：クラウドソーシングを用いた自閉スペクトラム症児の睡眠と発達に関する研究. 日本児童青年精神医学会総会抄録集 64回: O1, 2023.
10. 川原 紘子,冠地 信和,熊崎 博一,今村 明,小澤 寛樹：遠隔操作型ロボット(Sota100)を用いた産休育休中の医師支援についての予備的研究. 精神神経学雑誌：2023.

11. 今村 明,山本 直毅,三宅 通,熊崎 博一,小澤 寛樹,岩永 竜一郎,田中 悟郎：精神科へき地医療の新しい時代に向けて長崎県における児童精神科医療へき地支援体制の構築. 精神神経学雑誌：2023.
12. 冠地 信和,熊崎 博一,今村 明,小澤 寛樹,谷口 大輔,塚崎 稔,吉川 雄一郎,石黒 浩,馬場 惇,村山 真一：デイケア利用者が遠隔操作型ロボットに抱く信頼感に影響を与える条件について比較検討したので報告する. 精神神経学雑誌：2023.
13. 川原 紘子,森本 芳郎,冠地 信和,大橋 愛子,田山 達之,熊崎 博一,今村 明,小澤 寛樹：パーキンソン病による器質性緊張病性障害に対して,プレクスピブラゾールと修正型電気けいれん療法の併用療法が奏功した1例. 九州神経精神医学：2023.
14. 古賀 公基,冠地 信和,大橋 愛子,田山 達之,熊崎 博一,今村 明,小澤 寛樹,谷保 康一,中野 健,小田 孝,古賀 洋一,北島 正親,井上 啓爾：高度便秘に対し結腸切除術と継続した排便訓練を行った,精神病エピソードを伴う知的発達症の一例. 九州神経精神医学：2023.
15. 松本 和樹,冠地 信和,大橋 愛子,田山 達之,熊崎 博一,今村 明,小澤 寛樹：自閉スペクトラム症・知的発達症・てんかんを背景にもつ小児がCapgras症候群を呈した一例. 九州神経精神医学：2023.
16. 清水 日智,冠地 信和,大橋 愛子,田山 達之,熊崎 博一,今村 明,小澤 寛樹：COVID-19により自殺企図に至った強迫症状を伴う統合失調症の一例. 九州神経精神医学：2023.
17. 中村 康司,冠地 信和,大橋 愛子,田山 達之,熊崎 博一,今村 明,小澤 寛樹：抗てんかん薬がうつ病の治療に関与した一例. 九州神経精神医学：2023.
18. 村山 真一,冠地 信和,川田 恵,吉川 雄一郎,馬場 惇,石黒 浩,谷口 大輔,塚崎 稔,今村 明,小澤 寛樹,熊崎 博一：精神科病院デイケアでの遠隔操作型会話ロボットを活用した支援の予備的研究. 日本社会精神医学会雑誌：2023.
19. 冠地 信和,川原 紘子,川田 恵,吉川 雄一郎,馬場 惇,石黒 浩,辻田 高宏,木下 裕久,今村 明,小澤 寛樹,熊崎 博一：遠隔操作型会話ロボットを活用した産休中の医師支援の予備的研究. 日本社会精神医学会雑誌：2023.
20. 李 璐,河村 典枝,熊崎 博一,植田 一博：不気味の谷現象に関する自閉スペクトラム症者と定型発達者の比較：カテゴリー知覚からの検討. 認知科学 / 日本認知科学会 編 65(5): 769-771, 2023.
21. 川原 紘子,森本 芳郎,冠地 信和,大橋 愛子,田山 達之,熊崎 博一,今村 明,小澤 寛樹：パーキンソン病による器質性緊張病性障害に対して,プレクスピブラゾールと修正型電気けいれん療法の併用療法が奏功した1例. 九州神経精神医学 68(45355): 131-132, 2023.
22. 古賀 公基,冠地 信和,大橋 愛子,田山 達之,熊崎 博一,今村 明,小澤 寛樹,谷保 康一,中野 健,小田 孝,古賀 洋一,北島 正親,井上 啓爾：高度便秘に対し結腸切除術と継続した排便訓練を行った,精神病エピソードを伴う知的発達症の一例. 九州神経精神医学 68(45355): 114-115, 2023.
23. 松本 和樹,冠地 信和,大橋 愛子,田山 達之,熊崎 博一,今村 明,小澤 寛樹：自閉スペクトラム症・知的発達症・てんかんを背景にもつ小児がCapgras症候群を呈した一例. 九州神経精神医学 32(3): 272, 2023.
24. 清水 日智,冠地 信和,大橋 愛子,田山 達之,熊崎 博一,今村 明,小澤 寛樹：COVID-19により自殺企図に至った強迫症状を伴う統合失調症の一例. 九州神経精神医学 32(3): 252-253, 2023.
25. 中村 康司,冠地 信和,大橋 愛子,田山 達之,熊崎 博一,今村 明,小澤 寛樹：抗てんかん薬がうつ病の治療に関与した一例. 九州神経精神医学 32(3): 252, 2023.
26. 前田 沙和,前田 洋佐,大西 祐美,吉川 雄一郎,熊崎 博一：ロボット研究者による精神科デイケアでのフィールドワーク実施時の,複雑な反応への対応. 日本社会精神医学会雑誌 32(3): 251-252, 2023.
27. 越智 景子,井上 昂治,河原 達也,大西 祐美,熊崎 博一：傾聴ロボットを用いた精神科デイケアでの会話の基礎検討. 日本社会精神医学会雑誌 32(3): 243-244, 2023.
28. 秋吉 拓斗,住岡 英信,熊崎 博一,中西 惇也,大西 祐美,前田 洋佐,前田 沙和,加藤 博一,塩見 昌裕：思考の整理を支援する対話ロボットの精神科デイケアにおける実践的な開発. 日本社会精神医学会雑誌 27(2): 165-171, 2023.

29. 大西 祐美,川田 恵,吉川 雄一郎,石黒 浩,熊崎 博一: 精神科デイケアでの人間型自律ロボットを用いた対話プログラムの実践報告 ロボットとの対話をいかに人との対話へつなげるか. 日本社会精神医学会雑誌 64回: O1, 2023.
30. 川田 恵,大西 祐美,前田 洋佐,前田 沙和,吉川 雄一郎,熊崎 博一,石黒 浩: 統合失調症患者を対象とした精神科デイケアにおける自律型ロボットとの対話体験の受容に関する報告. 日本社会精神医学会雑誌 64回: O1, 2023.
31. 西川 菜月,大西 裕也,住岡 英信,塩見 昌裕,今村 明,熊崎 博一: 新型ハグロボット「Moffuly(モフリー)」の使用によるハグされる安心感の検討. 日本児童青年精神医学会総会抄録集 64回: np90, 2023.
32. 清水 日智,山本 直毅,今村 明,熊崎 博一: クラウドソーシングを用いた自閉スペクトラム症児の睡眠と発達に関する研究. 日本児童青年精神医学会総会抄録集 64回: S3, 2023.
33. 石井 あずさ,奥泉 大地,熊崎 博一,吉川 雄一郎: 発達障害外来児に対するロボットによるプレパレーションの有用性の検討 予備的研究. 日本児童青年精神医学会総会抄録集 35(Suppl.): S, 2023.
34. 熊崎 博一: 児童精神科領域におけるロボットを用いた支援の可能性. 日本児童青年精神医学会総会抄録集 32(4): 312-317, 2023.
35. 熊崎 博一: 最新のテクノロジーを用いた発達障害支援の現状と今後の課題 AIを用いた5歳児健診の潜在性. 日本児童青年精神医学会総会抄録集 37(12): 1248-1252, 2023.
36. 田添 健裕,田山 達之,濱田 祥生,大橋 愛子,冠地 信和,熊崎 博一: 筋強剛,発熱,CK上昇を認め悪性症候群と悪性緊張病の鑑別に苦慮した一例. 総合病院精神医学: 2023.

## 学会発表数

A-a	A-b		B-a	B-b	
	シンポジウム	学会		シンポジウム	学会
1	1	9	4	8	19

## 社会活動

氏名・職	委員会等名	関係機関名
熊崎博一・教授	編集委員	日本社会精神医学会
熊崎博一・教授	第63回日本児童青年精神医学会総会 プログラム委員	日本児童青年精神医学会
熊崎博一・教授	国際学会連絡・国際交流基金運営委員会	日本児童青年精神医学会
熊崎博一・教授	評議員	日本社会精神医学会
熊崎博一・教授	会長	長崎県自殺対策連絡協議会
熊崎博一・教授	会長	長崎県精神保健福祉協会
熊崎博一・教授	会長	長崎県精神保健福祉審議会
熊崎博一・教授	プログラム委員	第64回日本児童青年精神医学会総会
熊崎博一・教授	会長	長崎県精神科救急医療システム連絡調整委員会
熊崎博一・教授	会長	長崎県精神医療審査会

熊崎博一・教授	編集委員	日本総合病院精神医学会
熊崎博一・教授	代議員	日本小児精神神経学会
熊崎博一・教授	ホームページ委員 委員長	日本小児精神神経学会
熊崎博一・教授	編集委員	日本小児精神神経学会
熊崎博一・教授	Editorial Board	Autism Research
熊崎博一・教授	小児精神医療委員会委員	日本精神神経学会

### 競争的研究資金獲得状況（共同研究を含む）

氏名・職	資金提供元/共同研究先	代表・分担	研究題目
熊崎博一・教授	日本学術振興会	分担	科学研究費助成事業 基盤研究(A)「発達障害者の交流を支援する半自律対話ロボットに関する研究」
熊崎博一・教授	日本学術振興会	代表	科学研究費助成事業 基盤研究(A)「発達障害学生のオンライン授業における複数ロボットによる支援システムの開発」
熊崎博一・教授	日本学術振興会	代表	科学研究費助成事業 挑戦的研究(萌芽)「自閉スペクトラム症者の自己開示を促す多数体ロボットシステムの開発」
熊崎博一・教授	科学技術振興機構	分担	ムーンショット型研究開発事業「誰もが自由に活躍できるアバター共生社会の実現」
熊崎博一・教授	日本学術振興会	代表	科学研究費助成事業 学術変革領域研究(A)「自閉スペクトラム症児の感覚処理特性評価研究から探る深奥質感認識個人差の解明」
熊崎博一・教授	科学技術振興機構	分担	CREST「納得感のある人間-AI協調意思決定を目指す信頼インタラクションデザインの基盤構築と社会浸透」
熊崎博一・教授	日本学術振興会	代表	科学研究費助成事業 新学術領域研究(研究領域提案型)「対人恐怖症患者に対話継続を促す診察支援ロボットの開発」
熊崎博一・教授	日本学術振興会	分担	科学研究費助成事業 基盤研究(B)「認知バイアスから自閉症者の行動を探る：自閉症者の診療場面における説明再考に向けて」
熊崎博一・教授	日本学術振興会	分担	科学研究費助成事業 基盤研究(A)「ひきこもりの生物心理社会的病態理解に基づく多様な支援法開発」
熊崎博一・教授	科学技術振興機構	分担	戦略的な研究開発の推進 未来社会創造事業 探索加速型「数理的な社会情動能力の発達を促進するAIエージェントシステムの開発」
熊崎博一・教授	日本学術振興会	代表	科学研究費助成事業「発達障害者の自己意思決定を支援するマルチロボット連携システムの開発」

熊崎博一・教授	日本学術振興会	代表	科学研究費助成事業「自閉スペクトラム症児の深奥質感認識における経時的变化と個人因子との関係の解明」
熊崎博一・教授	AVITA株式会社		自閉症療育アプリ開発に関する共同研究

## その他

### 非常勤講師

氏名・職	職（担当科目）	関係機関名
熊崎博一・教授	客員教授	岐阜大学工学部
熊崎博一・教授	客員教授	昭和大学 発達障害研究所

### 新聞等に掲載された活動

氏名・職	活動題目	掲載紙誌等	掲載年月日	活動内容の概要と社会との関連
熊崎博一・教授	5歳児健診	ぎゅっと長崎	2023年7月14日	5歳児健診の意義について説明を行った。
熊崎博一・教授	ロボットを発達障害にどう生かす？	メディカルトリビューン	2023年7月	ロボットの発達障害に用いる意義について解説した
熊崎博一・教授	うつ病とは	毎日新聞長崎版	2023年5月	うつ病の実態について解説した
熊崎博一・教授	認知症とうまく付き合うためには	朝日新聞	2023年10月30日	認知症との付き合い方について説明した

### 学術賞受賞

氏名・職	賞の名称	授与機関名	授賞理由、研究内容等
熊崎博一・教授	Outstanding Research Award優秀論文賞	HAIシンポジウム2024	優れた論文だったため